

長泉町・さわやかハイキング報告書

通算山行NO	NO. 78	報告者	村上充彦
年月日	2010年4月4日(日・曇)	2万5千円	秦野
山名	東丹沢・塔ヶ岳(1491m)		
体力度=3・普通	技術度=3・普通	藪漕度=ない	道標=ある
展望度=良い	三角点名=塔ヶ岳	等級=三等	トイレ=各山小屋
<b>故宮川さん慰霊登山</b>			
コース とタイム	下土狩 5:00—農協—新潟運輸交差点—裾野市役所—御殿場神場南—戸沢山荘 8:15 A隊=政次郎尾根—新大日 10:30—塔ヶ岳 11:20 B隊=天神尾根—塔ヶ岳 10:45 合流 11:30—遭難現場 12:30~13:00—掘山の家 13:10~14:30—勘七林道 15:15 —県民の森 15:45—温泉—下土狩 19:00 頃		
標高差	上り 戸沢山荘約520m~塔ヶ岳1491m=約971m 下り 塔ヶ岳1491m~勘七林道約530m=約961m		
参加者	A隊=C L 後藤隆徳、渡辺正巳、永尾広、石和加代子、河野光江、村上美恵子、 峰田光江、鈴木仁、土屋弥生、鈴木恵美子、佐々木和雄、山本みどり、 杉山正子、堀江義昭、天野和子、増田真理子、小松真明、芹澤圭子、 大庭雅子、田中いし子、杉本幸子、村上充彦=22名 B隊=S L 井上弘二、鈴木新平、鈴木綾子=3名 計=25名		

昨年の12月に私の登山仲間が病気で亡くなり、今年1月に塔ヶ岳に追悼登山に行ってきましたが、宮川さんの遭難現場に立寄って線香を上げ、手を合わせてきました。それから2ヵ月後、今日は早いもので3回目をむかえる故宮川寿夫さんの慰霊登山の日。

マイクロバスは長泉を5時に出発。裾野、御殿場で参加者を収容し、総勢25名が集う。御殿場を過ぎる頃から雲行きが怪しくなり始め、目的地に着く頃には雨雲が広がり、今にも雨が落ちてきそうな天候でした。(何とか一日天気はもってくれました)  
7時過ぎに戸沢山荘前の駐車場に到着。ラジオ体操で体を解した後、7:30 山荘前を出発。



戸沢山荘から出発



直ぐに政次郎尾根と天神尾根の分岐、A隊は後藤 CL を先頭に政次郎尾根、B隊は井上 S L を先頭に天神尾根から塔ヶ岳を目指し、塔ヶ岳山頂で合流する予定。(B隊は3名の予定でしたが、実際には9名程が天神尾根ルートを選択)

※A隊CLとB隊SLは、相互の連絡用に無線機を装備。政次郎尾根ルートは、暫く歩くと樹林帯に入りその後は急登の連続でしたが、樹林帯を抜け最後の急登を登り終わると尾根に出ました。ここが政次郎の頭。時間は8:50。10分休憩した後、出発する。塔ヶ岳まで残り1.9km。私はA隊の殿を歩いていましたが、今回も河野さんのリュックが相当重そうです。

稜線に出てからは生憎の天気で周りの景色を見ることができませんでしたが、逆に天気が悪かったことが幸いしたのか分かりませんが「霧氷」を見ることができました。以前竜ヶ岳、鍋割山で霧氷を見たことがありましたが、改めて自然現象には驚愕してしまいます。何かが空から落ちてきた～！と思ったら霧氷の氷でした。

そうこうしているうちに早くも塔ヶ岳に到着。時間を見ると10時前でした。予定より45分早く戸沢山荘を出発できたので塔ヶ岳到着は10:35の予定でしたが、40分位早く着いたことになる。頂上は一面霧の中、寒さも一段と増してきた。

※6年前に同じルートをコースタイムの3時間で登っていますが、その時と比較すると30分短縮しています。



寒い一日だった



歩荷オジさん

ここでB隊と合流の予定でしたが、B隊の姿はない(10時頃到着予定)。無線機で通信を試みるが応答がない。山頂に長居できる状況でないので早々に掘山の家近くの遭難現場に向けて下山を開始することになった(10:05)。

下山を始めた直後、頂上直下辺りでB隊と会うことができたが、合流はせずにB隊は頂上へ、A隊はそのまま下山する。11:00、掘山の家手前の遭難現場に到着する。

お花、缶コーヒー、羊羹、お線香などを上げ、手を合わせる。その後B隊も合流し、全員で岳人の歌を合唱。ご冥福をお祈りします。

その後、当時お世話になった掘山の家へ場所を移して昼食、弔いのお酒を頂く。このお酒は伊藤会長からの差し入れで、後藤CLが担ぎ上げて頂いたもの。美味しく頂く。

12:30 先発隊14名は勘七林道經由県民の森駐車場に向けて下山を開始するが、後藤CLを含む残りのメンバーは掘山の家でもう少し歓談するとのこと。

多少お酒が入っているものの軽快にかつ慎重に下り、13:30 二俣を過ぎ、14:00 前に県民の森駐車場に到着。遅れること 30 分、後発隊も到着し、全員無事に下山。本日最初で最後の集合写真をパチリ。

その後、秦野のスーパー銭湯「湯花楽」で入浴を済ませ、18 時過ぎには長泉に帰ることができました。最後に、無事に宮川さんの慰霊登山が出来、宮川さんも草葉の陰から喜んでくれていると思っています。

遭難現場で合掌



今年もヒゲさんと交流

